

---

## 産業応用フォーラム開催のお知らせ

### 産業応用フォーラム「自動車用電源システムマネジメント技術」

#### 概要：

より環境に優しく安全で快適な自動車を実現するために電子制御・電動化技術が必要不可欠となっており、車載電気負荷は年々増加の一途をたどっています。例えば、電動パワーステアリングなど大容量負荷の採用も急速に拡大しています。また、ハイブリッド自動車や電動 4WD システムの普及も拡大しています。このため、自動車用電源システムはより重要性が増し、これらの電装品及び電機機器の基盤として認識されるようになってきました。そして、大容量化、高効率化、高信頼化など電源系への要求も年々高度化してきています。

本フォーラムでは、次世代の自動車電源システムと、それを実現するための課題や対応する技術開発動向について、車両システム、コンポーネントの両面から調査した内容から、電源システム、エネルギーマネジメント、パワーマネジメント、電装品、パワーエレクトロニクス、エネルギー貯蔵デバイス、バッテリーマネジメントについて、現状と将来動向、技術内容とロードマップをまとめた結果を報告します。「自動車用電源システムマネジメント調査専門委員会」のメンバーを講師とし、最新の技術動向と応用を解説致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2008年10月24日（金） 13時00分～17時30分

会場：名古屋大学 IB館中棟大講義室

---

#### プログラム：

1	13:00-13:05	「開会挨拶」	トヨタ自動車	寺谷達夫氏
2	13:05-13:25	「総論：自動車電源を取り巻く環境」	トヨタ自動車	立花 武氏
3	13:25-14:00	「求められる将来のクルマ像と電源」	本田技術研究所	有富 徹氏
4	14:00-14:35	「自動車電源システムを支える要素技術」	矢崎部品	大高道弘氏
5	14:35-15:10	「シミュレーション技術」	トヨタ自動車	辻 公壽氏
		休憩		
6	15:20-15:55	「自動車電源のエネルギーマネジメント」	パワーシステム	木下繁則氏
7	15:55-16:30	「蓄電デバイスの技術」	古河電池	古川 淳氏
8	16:30-17:00	「自動車電源のパワーマネジメント」	オートネットワーク技術研究所 東海理化	宮崎順之氏 林 政樹氏
9	17:00-17:30	「総合質問」		

---

テキスト：電気学会技術報告書 第1121号「自動車用電源システムマネジメント技術」（一般価格 3,465円）  
電気学会 自動車用電源システムマネジメント調査専門委員会編

参加費：テキスト購入の場合 一般（会員：9,000円 非会員：10,000円）学生（会員：4,500円 非会員：5,500円）  
テキストなしの場合 一般（会員：6,500円 非会員：7,500円）学生（会員：2,000円 非会員：3,000円）  
当日参加も受け付けますが、テキストには限りがありますので出来るだけ事前申込みをお願い致します。追加テキストのみの当日販売も行います。

申込方法：「産業応用フォーラム（自動車用電源システムマネジメント）参加申し込み」と題記し、氏名、所属、連絡先（住所、電話番号、ファックス番号、電子メール）、会員/非会員の別（会員＝電気学会、通信、照明、情報処理、映像・情報学会。※事業維持員（法人会員）は除きます）及びテキストの要否をご記入の上、t-fukada@iaec.isuzu.co.jpまで、電子メールにてお申し込みください。

参加費払込方法：参加費は当日会場受付にてお支払い下さい。

事前参加申込、問い合わせ先：深田 隆文（いすゞ中央研究所）E-mail； [t-fukada@iaec.isuzu.co.jp](mailto:t-fukada@iaec.isuzu.co.jp)  
TEL:0466-45-2613 FAX: 0466-45-2405

主催：電気学会産業応用部門 自動車技術委員会（委員長 トヨタ自動車 寺谷 達夫）

協賛：同技術委員会 自動車用統合電源システム調査専門委員会（委員長 トヨタ自動車 立花 武）  
（社）自動車技術会 42V分科会

---

産業応用フォーラム開催のお知らせ

産業応用フォーラム「鉄道における状態監視・危険予知の技術」

概要：

「鉄道における状態監視・危険予知の技術に関する共同研究委員会（委員長：奥谷 民雄）」では、鉄道における各分野の状態監視技術、危険予知技術の現状及びニーズに関する国内外の調査結果、国内他産業の状態監視システムの現状についての調査結果をとりまとめ、今後鉄道において実用可能な状態監視技術や危険予知技術という点から調査検討を行い、鉄道システムの安全性確保と、より一層の合理的運営をもたらすであろうと期待される保守・保全技術について検討しました。

本フォーラムでは、同委員会の活動成果について御報告し、さらに車両システム、信号保安システム、また他分野や海外での状態監視・危険予知技術について解説します。状態監視・危険予知技術の開発・製作に携わっている方、利用されている事業者の方のみならず、将来の鉄道システムのあり方を検討する上においても、有益なフォーラムになると確信します。多くの方々のご参加をお待ち致します。

日 時：2008年10月31日（金）13時30分～17時00分

場 所：電気学会 会議室（東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8階）

---

プログラム：

- 13:30-13:45 交通・電気鉄道技術委員会 委員長挨拶 中村英夫  
13:45-14:00 「鉄道における状態監視・危険予知の技術に関する共同研究委員会」について  
奥谷民雄（元 鉄道建設・運輸施設整備支援機構）  
14:00-14:30 鉄道信号設備の状態監視を目的とした事故データ分析及び評価  
福田光芳（鉄道総合技術研究所）  
14:30-15:00 車両の状態監視・危険予知の技術 青山育也（東芝）
- 15分休憩
- 15:15-15:45 信号設備の状態監視・危険予知の技術 五島雄一郎（日本鉄道電気技術協会）  
15:45-16:15 他業種の状態監視・危険予知技術 田代維史（元日立製作所）  
16:15-16:45 海外の状態監視・危険予知の技術調査報告 水野啓介（京三製作所）
- 16:45-17:00 自由討論  
17:00 閉会挨拶 奥谷民雄 委員長

---

テキスト：電気学会技術報告第1089号「鉄道における状態監視・危険予知技術」（定価¥2,520）を使用いたします。

参加費：テキストをお持ちでない場合：一般 会員 4500円 非会員 5500円（テキスト代含む）  
学生 会員 2500円 非会員 3000円（ ” ” ）  
テキストをお持ちの場合：一般 会員 2000円 非会員 3000円  
学生 会員 1500円 非会員 2000円

申込方法：『会社名、お名前、お電話番号、参加費の別』をお示しの上、下記まで申込みをお願い致します。当日参加も可能ですが、テキストと席には限りがありますので、出来る限り事前のお申込みをお願い致します。

申込み、問合わせ先：（財）鉄道総合技術研究所 信号担当 福田光芳  
TEL:042-573-7325 FAX:042-573-7323  
E-mail: mfukuda@rtri.or.jp

主 催：電気学会 産業応用部門 交通・電気鉄道技術委員会（委員長 中村英夫）  
鉄道における状態監視・危険予知の技術に関する共同研究委員会（委員長 奥谷民雄）